

プレスリリース

国際空港で庇護を求めた難民の方の支援強化に向けて

—なんみんフォーラム、リニューアルされたポスターとリーフレットを設置

なんみんフォーラム（FRJ）は、昨年秋から今年1月にかけて、日本の空港での円滑な庇護希望者の保護を目的に作成している案内資料（ポスター、リーフレット）のリニューアルと、各空港（新千歳、成田、羽田、中部、関西、福岡、那覇）への設置を行いました。



2012年2月10日に法務省入国管理局（当時）、日本弁護士連合会（日弁連）と締結した覚書（<http://frj.or.jp/news/news-category/form-frj/121/>）に基づき、2年間の試行を経て、2014年より「空港において難民としての庇護を求めた者に係る住居の確保等に関する事業」（<http://frj.or.jp/news/news-category/form-frj/5453/>）が継続実施されてきました。

今回のリニューアルは2016年以来となりますが、当会では、これまでに同事業で支援に取り組んだケースの状況等を踏まえ、より当事者のニーズに応えるべく、出入国在留管理庁（入管庁）の協力のもと改定作業に取り組んできました。

まず、リーフレットでは、日本での庇護を希望する場合の手続きの方法や流れについての解説を改定しました。特に、来日直後に空港で庇護を希望した場合特有の手続きの流れが分かるようにしました。また、難民支援団体の相談窓口を掲載し、必要なカウンセリングにいち早くつなげる内容としています。ポスターには、難民支援団体の相談窓口の案内について、従来の電話番号に加えて、アプリケーションやメールでの相談ができるように、情報を追加しました。また、庇護

希望は入管職員に伝える必要がありますが、空港では制服を着用する方が多く勤務していることから、入管職員が身に付けているバッジをイラストで掲載しました。あわせて、当事者の方が携帯電話を使用できない場合などには、難民支援団体に連絡するために入管職員に電話の使用を相談できることも知らせています。

本事業を通じてFRJでは、空港で庇護を希望する方の個別ニーズに応じて、住居（シェルター）の提供や、法的手続きの支援（リーガルサービス）、ソーシャルワーク、医療や教育へのアクセスの確保などに取り組んできました。関東・東海・関西地域を拠点とするFRJの加盟団体では、空港や収容施設に留め置かれた庇護希望者からの相談への対応や面会も行っています。これらの支援は、民間の助成金や寄付金などにより行われてきました。また、難民申請手続きに関する法的な支援では、日弁連と協力し、必要なサポートを行っています。

空港でのポスターの掲示やリーフレットの設置により、出身国での迫害や人権侵害から逃れて日本に到着した難民が、庇護に向けて迅速に必要な情報にアクセスできる状態の実現を目指します。また、適切な支援の提供や保護の実現につながることを期待します。

FRJでは、今後も三者の連携のもとに本事業を継続・促進し、難民支援の拡充に取り組みます。

\*ポスター、リーフレットは反差別国際運動（IMADR）の助成により作成しております。

なんみんフォーラムについて <http://frj.or.jp/>

2004年に設立。日本に逃れた難民や難民に類する背景を持つ人々に関わるNGOおよび団体で構成される全国ネットワーク。2025年1月28日現在、26団体が加盟。避難を余儀なくされた人々の権利と尊厳を守り、安心して暮らせる社会の実現を目指して活動している。主な活動として、支援現場で直面する課題を共有し、知見やリソースを提供することで加盟団体間の連携を強化している。また、加盟団体やパートナー団体の知見やサービスと国内外の多様なステークホルダーをつなぐことで、包括的な支援を推進。政府機関、医療機関などと連携し、FRJのネットワークを生かした事業を実施している。さらに、支援現場で得られた課題や知見を集約・分析し、中長期的な社会や政策への働きかけに取り組んでいる。2012年より、法務省入国管理局（現在は入管庁）、日本弁護士連合会（日弁連）と、難民問題に関する三者協議を実施している。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

NPO法人なんみんフォーラム事務局

Email: [info@frj.or.jp](mailto:info@frj.or.jp) TEL: 080-5504-5670

